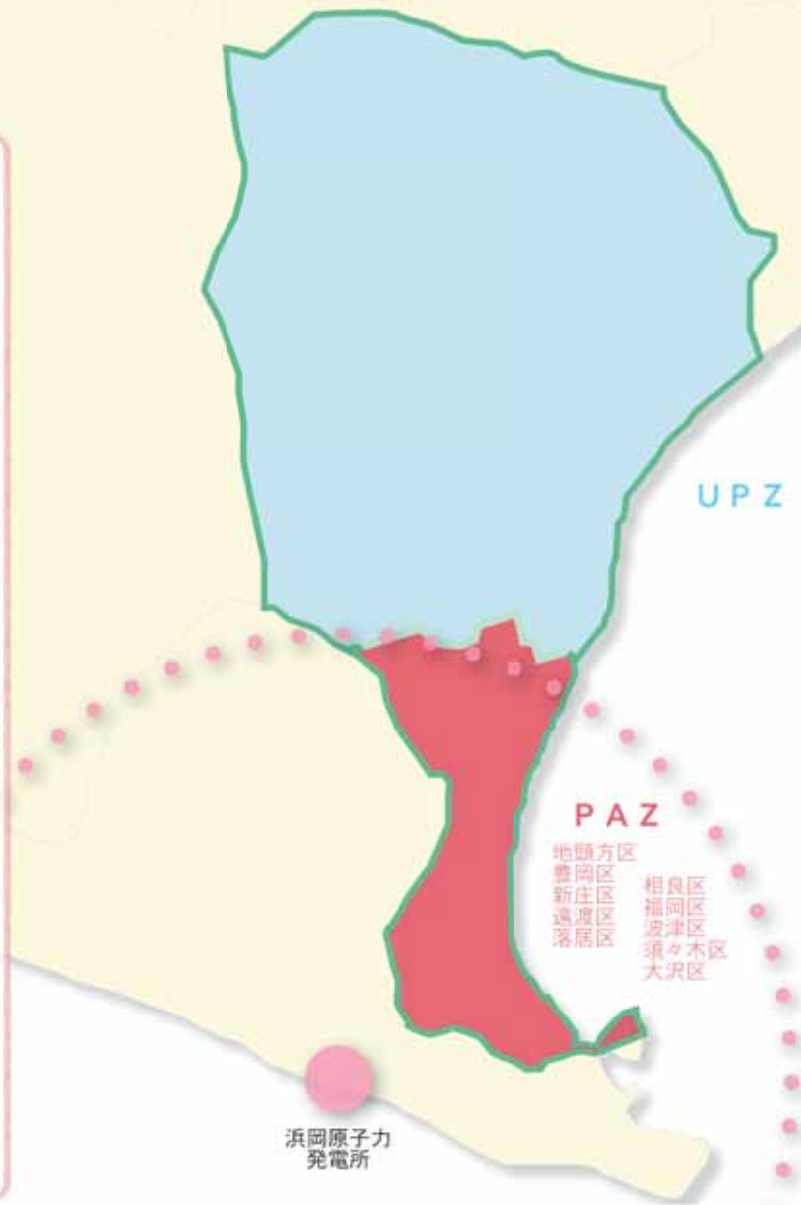


安定ヨウ素剤を

事前配布

国の原子力災害対策指針の改定で、原発からおおむね半径5キロメートル圏内（PAZ）の住民に安定ヨウ素剤を事前配布することになりました。市では、PAZの地頭方区・豊岡区・新庄区・遠渡区・落居区・相良区・福岡区・波津区・須々木区・大沢区に住む人を対象に、住民説明会と安定ヨウ素剤の事前配布を行います。

問い合わせ 防災課 中村 ☎(23)0058



安定ヨウ素剤の事前配布と説明会日程

事前配布の対象者

浜岡原発からおおむね半径5キロメートルのPAZ圏内の住民
平成28年7月31日現在で住民基本台帳に記載されている人
*上記以降に転入された人には追加の説明会日程を改めてお知らせします。

事前配布の流れ

- ①配布対象者に説明会案内とチェックシートを送付します（9月末～10月上旬）
- ②配布対象者はチェックシートを記入し説明会に参加します
- ③説明会で安定ヨウ素剤の効果や副作用について説明を受けます
- ④副作用を引き起こすような病歴や薬を服用していないか薬剤師や保健師が確認します
- ⑤服用可能と判定された人には当日、説明会場で安定ヨウ素剤を配布します

配布数

安定ヨウ素剤の使用期限である3年後の年齢に応じた配布数を事前配布します

- ▶10歳未満＝1丸
- ▶10歳以上13歳未満＝2丸
- ▶13歳以上＝2丸

説明会開催日程

| 期日 | 会場 | 受付時間 | 主に対象となる区 |
|-----------|----------|--------------|--------------|
| 10月22日(土) | 地頭方体育館 | 午後2時～午後6時30分 | 地頭方区・落居区 |
| 10月23日(日) | 地頭方体育館 | 午前9時～午後6時30分 | 豊岡区・新庄区・遠渡区 |
| 10月29日(土) | 相良小学校体育館 | 午後2時～午後6時30分 | 大沢区 |
| 10月30日(日) | 相良小学校体育館 | 午前9時～午後6時30分 | 相良区・福岡区・須々木区 |
| 11月6日(日) | 相良小学校体育館 | 午前9時～午後6時30分 | 波津区 |

*対象となる地区の説明会に参加できない場合は、他の会場でも参加できます。

内部被ばくを抑える安定ヨウ素剤

原子力災害対策では、避難と屋内退避によって外部被ばくを防ぎ、安定ヨウ素剤の服用によって内部被ばくの被害を抑えることが重要です。

内部被ばくとは、放射線を放つ放射性物質を口から体内に取り込んでしまい、放射線による被害を体内から受けることです。これを引き起こす原因が、甲状腺に集積する性質のある放射性物質の放射性ヨウ素です。

放射性ヨウ素による内部被ばくは、放射性ヨウ素にさらされる24時間以内に、安定ヨウ素剤を事前に服用することで抑えることができます。また、放射性ヨウ素にさらされても、4時間以内であれば効果があるとされています。

ただし、安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素以外の放射性物質（セシウムなど）による被ばくを抑えることはできません。

PAZへの安定ヨウ素剤の配布

国の原子力災害対策指針では、原発から半径5キロメートル圏内をPAZ（予防的防

は副作用（呼吸困難や関節痛、発疹など）が起こる可能性があります。

市が開催する説明会で、医師や薬剤師、看護師、保健師を含む医療関係者から服用に関する説明を受け、安定ヨウ素剤を服用することに問題がないと判定された皆さんに、必要な量の安定ヨウ素剤を配布します。

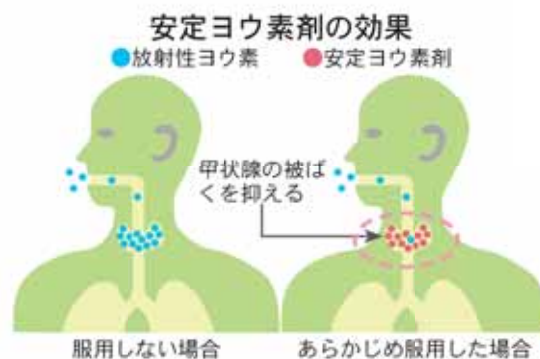
UPZへの対応

浜岡原発から半径5キロメートルを超えるUPZでは、原子力災害時に屋内退避を基本としています。空間放射線量の測定値（大気中への放射性物質の放出状況）に応じて、避難と安定ヨウ素剤の配布が行われ、服用の準備をします。

UPZの皆さんに緊急時に配布する安定ヨウ素剤は、市役所庁舎や学校、公民館などに備蓄しています。

原子力災害時の防災指示

PAZに住住する皆さんは、原子力災害時の「全面緊急事態」の時点で、国や県、市が出す避難指示と安定ヨウ素剤の服用指示に従い行動す



安定ヨウ素剤の効果
●放射性ヨウ素 ●安定ヨウ素剤

防護措置を準備する区域）、半径5キロメートルから30キロメートル圏内をUPZ（緊急時防護措置を準備する区域）としています。

PAZでは原発事故による放射線被害を回避するため、放射性物質が原発の外部へ放出される前に避難と安定ヨウ素剤の服用準備をします。

安定ヨウ素剤の服用がスムーズに行えるようにするため、PAZの地頭方区・豊岡区・新庄区・遠渡区・落居区・相良区・福岡区・波津区・須々木区・大沢区の住民を対象に、安定ヨウ素剤を事前配布することになりました。

安定ヨウ素剤は、医療用の医薬品のため、体質によって



ることになります。

ただし、お年寄りや病弱の方、乳幼児や乳幼児の保護者など災害時要支援者は、安定ヨウ素剤を服用する必要性のない段階（施設敷地緊急事態）で、優先的に避難を開始します。その際、安定ヨウ素剤を携行します。

UPZでは、「全面緊急事態」に至った場合、まず、国や県、市の指示に基づいて直ちに屋内退避をします。その後、国が原子力施設の状況や空間放射線量の測定値に応じて、安定ヨウ素剤の配布と服用の必要性を判断することになっていきます。

市内にはPAZとUPZの両方の区域があり、原子力災害時の対応にも違いがあります。市では、原発事故が発生した場合に、UPZ圏内の住民も即座に安定ヨウ素剤を服用できるように、PAZと同様に事前配布することについて、県を通じて国に要望をし